

JR 西日本第39回定時株主総会にて株主提案を行います。

市民の移動の利便性向上と関西地域全体の発展を目指して、
亀岡市の思いを経営陣へ届けます。



(JR 嵯峨野線)

京都府亀岡市(市長:桂川孝裕)は、地方の鉄道路線の維持や利便性の向上、また関西全体の発展を実現する新幹線整備を訴えることを目的とし、西日本旅客鉄道株式会社の第39回定時株主総会に株主提案書を提出しました。6月18日の株主総会では第5号議案および第6号議案として取り上げられることになっており、市長自ら出席し、提案内容について説明をする予定をしております。

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/34/87092.html>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市まちづくり推進部 桂川・道路交通課 担当：小林（こばやし）

TEL 0771-25-5070 E-mail : katsuragawa@city.kameoka.lg.jp

■亀岡市として初めてとなる、上場企業(JR 西日本)への株主提案

これまでは国や事業者への直接的な要望活動が中心でしたが、株主としての権利を行使し「定款の一部変更」という形で提案を行うことで、市の活動やメッセージを世間へ広くアピールします。

■JR 西日本に対する株主提案の概要

JR 西日本 第 39 回定時株主総会における株主提案の実施

日時:令和 8 年 6 月 18 日(木) 午前 10 時 00 分～

会場:リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニェット コレクション(大阪市北区中之島 5 丁目 3 番 68 号)

提案内容:①沿線自治体との間に「地域交通共創会議」等の定期的な協議の場を設けること

- ②大規模交通インフラ整備にあたり、より早期かつ安価に実現できる方策を追求し、持続可能な交通網の構築に努めること

※亀岡市からの 2 件の提案が議案(第 5 号議案、第 6 号議案)として取り上げられます。

■実施の背景



令和 4 年から続くコロナ禍による減便措置等により市民生活や経済活動に影響をきたしており、その状況を改善するため、市は令和 6 年度に JR 西日本の株式(35,000 株)を取得しました。

また、北陸新幹線の延伸計画(小浜・京都ルート等)において、工期の著しい長期化や工事費用の高止まりが懸念されています。特定のルートに固執することなく、より早く安価に実現できる方策を徹底的に検討してもらおうとともに、沿線自治体と JR が協調して事業運営を行うための体制づくりを求めるため、今回の提案に至りました。

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/34/87092.html>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市まちづくり推進部 桂川・道路交通課 担当:小林(こばやし)

TEL 0771-25-5070 E-mail: katuragawa@city.kameoka.lg.jp